



ふれあい

後期学校評価（12月）の結果より

平成28年2月8日
京都市立第三錦林小学校
校長 鎌井 百合子



今年度の授業もあと2ヶ月弱で終わりとなります。残りの期間で学年のまとめ、次の学年に向けての準備をしっかりと行ってほしいと思います。まだまだ寒い日が続きますが、一日一日を大切に、子どもたちが元気に登校してきてくれることを願っています。

さて、冬休み前に実施致しました学校評価にご協力いただきありがとうございました。児童、教職員にも、日常を振り返り、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。保護者の皆様にご記入いただきました学校評価と児童の自己評価、また教職員の自己評価を通して、本校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は12月の結果をお知らせします。また、7月に実施した学校評価の結果との比較から見えてくる課題を明らかにし、今後の取組に生かしていきたいと考えています。

					A…よくできている	B…大体できている	C…あまりできていない	D…できていない						
教職員					保護者				子ども					
質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D	質問	A	B	C	D
わかりやすく楽しい授業をしている。	14.3%	78.6%	7.1%	0%	我が子は、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	17.1%	74.1%	8.3%	0.5%	じゅぎょうがわかりやすくてたのしい。	37.2%	53.5%	7.9%	1.4%
基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身につくようになっている。	28.6%	71.4%	0%	0%	我が子には、基礎的・基本的（読む・書く・計算する）な学力が身についている。	16.5%	71.2%	10.8%	1.5%	けいさんやかんじのちからがついている。	40.3%	47.2%	10.6%	1.9%
家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。	14.3%	85.7%	0%	0%	保護者は、家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。	13.0%	66.8%	19.2%	1.0%	いえでじぶんからしゅくだいやがくしゅうをしている。	45.8%	36.6%	11.1%	6.5%
意欲的に学習に取り組めるように工夫している。	35.7%	64.3%	0%	0%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	17.0%	61.3%	19.6%	2.1%	じゅぎょううちゅう、すすんではっぴょうしている。	30.2%	40.5%	26.5%	2.8%
進んで挨拶できるように取り組んでいる。	50.0%	50.0%	0%	0%	我が子は、自分から進んで挨拶をしている。	21.1%	61.9%	16.0%	1.0%	じぶんからすすんでいさつをしている。	55.0%	38.0%	6.5%	0.5%
丁寧な言葉遣いが定着するように働きかけている。	28.6%	64.3%	7.1%	0%	我が子は、丁寧な言葉遣いをしている。	6.8%	58.3%	32.8%	2.1%	ていねいなことばづかいをしている。	25.2%	54.7%	16.8%	3.3%
友達を大切にし、仲良くできる学級づくりに取り組んでいる。	23.1%	76.9%	0%	0%	我が子は、友達を大切にし、仲良くしている。	47.2%	51.3%	1.5%	0%	ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	68.8%	28.4%	2.8%	0%
子どもと会話する機会を積極的に設けている。	50.0%	42.9%	7.1%	0%	保護者は、我が子と会話する時間を持っている。	30.1%	63.7%	6.2%	0%	こまつたことはせんせいやかぞくにそだんしている。	44.2%	36.7%	10.7%	8.4%
基本的な生活習慣が定着するように取り組んでいる。	14.3%	85.7%	0%	0%	保護者は、我が子が早寝・早起きをして朝ごはんをしっかり食べるようにしている。	36.6%	53.6%	9.8%	0%	はやね・はやおきをして、あさごはんをしっかりたべている。	45.4%	42.6%	10.6%	1.4%
校内の美化に向けて、積極的に取り組んでいる。	21.4%	78.6%	0%	0%	学校は、清掃等が行き届き、整理整頓がされている。	29.5%	65.3%	3.6%	1.6%	そうじやせいりせいとんをきちんとしている。	34.5%	46.5%	15.3%	3.7%
学校ホームページや学年（学級）だより等によって学校の取組を発信している。	14.3%	64.3%	21.4%	0%	学校は、ホームページや学年（学級）だより等によって学校の取組を発信している。	36.6%	57.7%	5.2%	0.5%					
学級や学校のルールを守ることができるように取り組んでいる。	23.1%	76.9%	0%	0%	我が子は家庭や学校のルールを守っている。	23.7%	71.2%	4.6%	0.5%	いえやがっこうのルールをまもっている。	43.2%	50.3%	5.6%	0.9%
子どものよさを認め、ほめている。	53.8%	38.5%	7.7%	0%	保護者は、子どものよさを認め、ほめている。	17.5%	69.1%	12.9%	0.5%	じぶんのよいところがいえる。	28.8%	39.6%	22.8%	8.8%
読書の習慣が定着するように取り組んでいる。	23.1%	61.5%	15.4%	0%	我が子は、本をよく読んでいる。	17.6%	38.9%	32.6%	10.9%	ほんをよくよんでいる。	45.6%	25.6%	19.0%	9.8%

*裏面では、子どもたちの姿から学校の取組や家庭との連携について、「成果」と「課題」を考えます。

～成 果～

○学習にかかわっては、「わかりやすく楽しい授業」についての設問に対して、A・Bと回答した保護者・子どももはいずれも約90%以上いました。さらに、前回と比べてA・Bと回答した保護者・子どもの割合もわずかですが増加していました。同じく、教職員も7.2%増の結果となりました。また、「基礎的・基本的な学力の定着」についての設問では、A・Bと回答した保護者・子どもが85%以上いました。こちらの割合も前回と比べると、微増しています。しかし、今年度実施したジョイントプログラムや全国学力・学習状況調査の結果分析からは、基礎的・基本的な内容の定着に課題が見られます。今後も、子どもたちが「分かる」「楽しい」と感じられるような授業を構築する共に、朝のチャレンジタイム、基礎基本の時間などを活用し、基礎基本の定着を図っていきたいと思います。

○心や生活にかかわっては、「こまったことはせんせいやかぞくにそうだんしている」という設問には80%以上の子どもがA・Bと回答し、「子どもと会話する機会を設けている」という設問には90%以上の保護者・教職員がA・Bと回答しました。こちらも前回と比べると増加しています。子どもたちが困った時や悩んだ時に安心して周りの大人に相談できるよう、信頼関係を築いていけたらと思います。

○「自分から進んで挨拶をする」の設問で、A・Bと回答した保護者は80%以上、子どももは90%以上おり、前回を上回っています。これは、教職員や見守り隊など地域の方々による登校指導やPTAの方による挨拶運動、計画委員による挨拶運動など、様々な取組を通して子どもたちに挨拶をすることの大切さが浸透してきているからではないかと思われます。しかし、挨拶をする時の声の大きさや相手の顔を見て挨拶をするといった点においては課題が残ります。気持ちのよい挨拶の仕方について考え、それを実践できる子どもに育つよう、今後も学校・家庭・地域が協力し合って子どもたちを見守っていけたらと思います。引き続きよろしくお願ひ致します。

～課 題～

○学習にかかわっては、「家庭学習」にかかわる設問に対して、A・Bと回答した保護者は前回の結果を若干上回りましたが、子どももは下回りました。新学期開始当初は、新しい学年でのスタートに「がんばろう」という気持ちも強く、家庭学習にも熱心に取り組むのですが、その意欲を継続させることが難しいようです。また、家庭学習でどのようなことに取り組んだらよいのかが分からぬといった様子も見られます。基礎基本の定着を図る上でも家庭学習の習慣を身に付けることはとても大切です。学校では、子どもたちが家庭学習でどういった内容に取り組んだらよいのか、どのように進めたらよいのかを具体的にイメージできるような取組を今後も継続して行っていきたいと思います。また、家庭学習の質・量を高めていくことも非常に大切ですので、家庭と学校が互いに連携し合い、家庭学習の習慣が身に付くよう取り組んでまいりたいと思います。

○生活にかかわっては、「丁寧な言葉遣いをしている」という設問に対し、A・Bと回答した子どもと教職員の割合は前回よりも減っていますが、保護者は増えています。この結果から、家庭では丁寧な言葉遣いを意識できても、学校という子ども同士の関わりが多いコミュニティになると丁寧な言葉遣いに対する意識が薄れるのではないかと思われます。我々、教職員が子どもたちの言語環境の良い模範となるように、もう一度自分たちの言葉遣いや子どもたちへの関わり方を見直すと共に、子ども同士の言葉遣いにもしっかりと気を配っていきたいと思います。

○「自分のよいところがいえる」という設問では、A・Bと回答した子どもは68.4%，C・Dと回答した子どもは31.6%でした。3割の子どもたちが依然として自分に自信がもてずにいることが分かります。学校では、前回の結果を踏まえ、子どもたちの自己肯定感を高めるためにはどうしたらよいかを話し合い、各学級で自分の良さを見つけたり互いの良さを認め合ったりできのような取組を進めています。今後も継続してこうした取組を行いながら、子どもたちの自己肯定感を高めていきたいと考えています。

～読書活動にかかわって～

「本をよく読んでいる」という設問に、A・Bと回答した子どもは71.2%で、7月に比べ10%近く減少しました。昨年度も7月の学校評価では79%であったのに対し、12月は69%と10%の減少が見られました。また、「我が子は本をよく読んでいる」という設問にA・Bと回答した保護者の方は56.5%で、半数近くの保護者の方がお子たちの読書の様子には満足されていないことがうかがわれます。読書週間を設けたり、おすすめの本を紹介したりするなど、読書活動の充実に向けた取組を行っていますが、まだまだ不十分であると言えます。学校図書館運営支援員の先生や読み聞かせボランティアの方とも連携を取りながら、より一層子どもたちが読書活動に親しめるような取組を進めてまいりたいと思います。

～自由記述から～

★施設・設備等について

- ・体育館の女子トイレの扉が閉まりにくいというご指摘を受けました。不具合を確認し、閉まるように修繕しました。また、運動会や学習発表会などの学校行事の際に体育館のトイレを使って頂いていますが、多くの方がご利用になるにも関わらず、トイレットペーパーが不足していたということでご迷惑をおかけしました。行事の際には、こちらでも足りているかどうかをチェックしたり予備を用意しておいたりするなどして対応したいと思います。今後も可能なところから少しづつでも改善に努めてまいりたいと思います。

★学校生活に関わって

- ・興味のある本はよく読んでいますが、文章はあまり読んでいません。「もっと読書習慣を身に付け、読書ノートに記入する習慣をつけてほしい」「読書の時間を家庭でもつことが難しく感じられます。図書館で本を借りてはいますが、冬休みに何冊か持ち帰りをさせてほしいです。」など、お子たちの読書活動についての記述がいくつかありました。子どもたちの様子を見ていると、空いている時間によく読書をしているのですが、それを読書ノートに記録するところまで習慣付いていないように感じます。子どもたちが意欲的に読書ノートに記録したくなるような取組を考えていければと思います。また、色々なジャンルの本に触れる機会を意図的に作っていけたらと思います。長期休業中の貸出については2冊までとなっておりますが、休み中も図書館を開放している日を設けておりますので、ぜひご活用ください。

- ・下校時の校門前（鹿ヶ谷通り）の安全についてのご指摘がありました。今後も見守り隊の方やスクールガードリーダーさんと連携し、子たちの安全確保には十分留意したいと思います。

☆「少人数の学校ならではのきめ細やかな教育がされていると思います。」「学校に行くことが多く、校門を入れれば教職員の皆様、気持ちの良い挨拶をされるので素晴らしいと思います。」「食器がアルマイトから新しくなって子どもも喜んでいます。」「毎日楽しく元気に登校しています。学校を、楽しく学び、遊べる場にして頂けていることに感謝します。」などのご意見も多数頂戴いたしました。こうしたご意見を励みに、今後も子どもたちのために取り組んでまいりたいと思います。

皆様からいただいた学校評価を真摯に受け止め、子どもたちの成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力を願いいたします。学校評価へのご協力を、誠にありがとうございました。